



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月31日

上場会社名 アズワン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7476 URL https://www.as-1.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井内 卓嗣  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役コーポレート本部長 (氏名)小野 元孝 (TEL)06-6447-1210  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	47,749	10.5	5,383	19.1	5,515	17.8	3,750	18.8
2018年3月期第3四半期	43,209	10.1	4,520	13.7	4,681	13.5	3,156	12.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,724百万円 (△29.5%) 2018年3月期第3四半期 3,863百万円 (54.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	200.90	200.67
2018年3月期第3四半期	167.43	167.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	73,355	51,235	69.7
2018年3月期	77,831	52,467	67.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 51,141百万円 2018年3月期 52,128百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	57.00	—	68.00	125.00
2019年3月期	—	70.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,850	8.0	7,520	14.0	7,700	12.5	5,210	11.2	279.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年3月期3Q	20,688,135株	2018年3月期	20,688,135株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,020,903株	2018年3月期	2,021,335株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年3月期3Q	18,666,948株	2018年3月期3Q	18,855,677株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託 (取締役向け) 及び株式給付型 E S O P 信託の信託財産として日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) が所有している当社株式 (2019年3月期3Q 39,720株、2018年3月期40,200株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年12月31日、以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、記録的な豪雨や台風、地震などの自然災害の増加や、一部に貿易摩擦による世界経済の下振れリスクなど不安要素が見られ始めたものの、引き続き堅調な企業収益や雇用情勢により緩やかな回復基調で推移しました。

このような事業環境のもと、当第3四半期の連結売上高は、477億49百万円（前年同四半期比10.5%増）となりました。この要因としては、eコマース型集中購買やインターネット通販業者向け売上が伸張していること等があげられます。加えて、2018年3月に子会社化した株式会社トライアンプ・ニジュウイチ（以下「トライアンプ21」という）の売上高を連結したこと、WEB上の取扱商品の品揃えが300万点を超え、売上に貢献していること、ユーザーがWEBから購入できるAXELショップの利用が増加していること等が、従来型の売上増に追加で寄与するようになってきたことがあげられます。

販売費及び一般管理費につきましては、95億73百万円（同10.2%増）と前年同四半期比8億83百万円増加しました。増加要因としては、当年度よりトライアンプ21の費用が加わったことや人材投入を厚くしていることによる人件費増加並びに運賃及び保管費の値上げ等の影響による増加等があげられます。

この結果、営業利益は53億83百万円（同19.1%増）、経常利益は55億15百万円（同17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億50百万円（同18.8%増）となりました。

部門別の状況及び中期経営計画売上施策の進捗状況は、以下のとおりです。

#### <研究・産業機器部門>

研究・産業機器部門では、2018年11月に研究用の総合カタログを発刊し、新商品を大量に掲載した頁数3,300頁超、掲載点数約75,000点（従来比約1.5倍）となる、他に類を見ない豊富な品揃えのカタログへと刷新しました。

科学機器分野では、堅調な景気動向を背景とした国内における民間企業からの引き合いが好調だったほか、eコマース型集中購買や、紙カタログに掲載していないWEB掲載商品の売上も拡大し、増収に寄与しました。これらにより当分野の売上高は271億95百万円（同10.1%増）となりました。また、製造現場を対象とする産業機器分野は、民間メーカー向け実験設備やクリーンルーム向けの消耗品が堅調に推移しました。販売チャネルとしては、産業系のインターネット通販業者向けが引き続き伸張し、売上に寄与しました。これらにより当分野の売上高は110億27百万円（同10.5%増）となりました。この結果、当部門の当第3四半期の売上高合計は382億23百万円（同10.2%増）となりました。

#### <病院・介護部門>

病院・介護部門では、2017年11月に更新した医療用総合カタログや、3年連続で更新している介護施設向けカタログにて品揃えの拡大を図った効果もあり、処置・手術用の器具消耗品や介護・リハビリ用品等が伸張したほか、全般的に堅調に推移しました。インターネット通販業者向けも寄与し、当部門の当第3四半期の売上高は92億11百万円（同8.0%増）となりました。

#### <その他>

第1四半期連結会計期間より損益を連結した子会社のトライアンプ21は独自の「OffSide」システムによる理化学機器・消耗品等のWEB購買代行サービスを行っており、そのシステム利用料としての当第3四半期の売上高は3億14百万円となりました。

なお、トライアンプ21については、2018年3月に51%、同年8月に49%の株式を取得し完全子会社化しております。

< 中期経営計画売上施策の進捗状況 >

中期経営計画で掲げる売上促進3施策は以下のとおり伸張しました。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) (百万円)	前年同四半期比 (%)
e コマース	6,023	7,810	129.7
海外事業	2,186	2,817	128.9
新規商材	1,332	2,049	153.8

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、733億55百万円（前連結会計年度末比44億75百万円減）となりました。このうち流動資産は、428億13百万円（同71億3百万円減）となりました。これは、主として1年以内に償還期を迎える有価証券が32億円減少したこと、トライアンプ21の完全子会社化に伴う株式取得や投資有価証券の購入等により現金及び預金が29億97百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が24億17百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、305億42百万円（同26億27百万円増）となりました。これは、主として投資有価証券が債券購入等により24億1百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、221億19百万円（同32億44百万円減）となりました。このうち流動負債は、193億6百万円（同21億97百万円減）となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が10億円減少したこと、未払法人税等が5億43百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、28億13百万円（同10億47百万円減）となりました。これは、主として長期借入金が6億75百万円減少したこと等によるものであります。

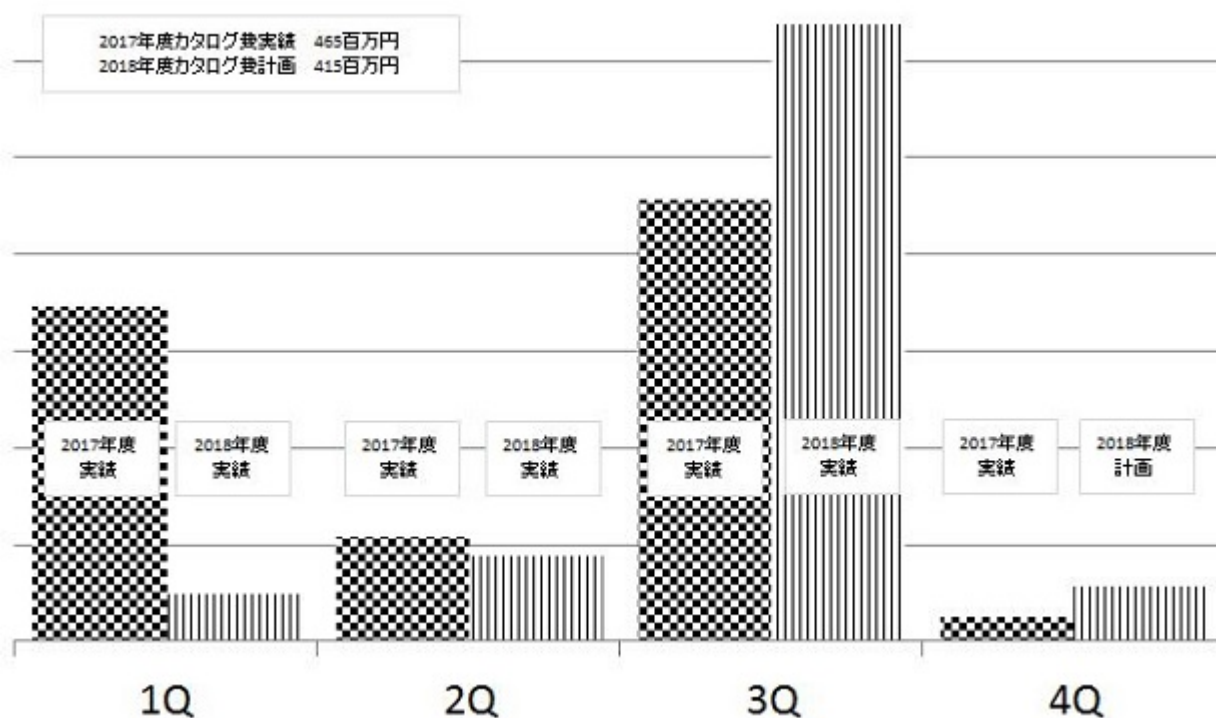
当第3四半期連結会計期間末の純資産は、512億35百万円（同12億31百万円減）となりました。これは、主としてトライアンプ21の完全子会社化に伴い資本剰余金が11億31百万円、非支配株主持分が2億71百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が10億33百万円減少したこと、一方で利益剰余金が11億68百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期末にかけて一部の輸出産業における需要に陰りが見られましたが、全体における影響は軽微であり、現時点では2018年10月31日公表の業績予想は変更しておりません。

なお、当社の場合、発刊規模の違うカタログを2年サイクルで発刊しており、カタログの発刊時期により四半期毎のコストが変化する傾向がありますので、予測に関しましては次頁の図を参考にしてください。

(四半期毎のカタログ費イメージ)



(注)この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は業況の変化などによりこの資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,441,129	11,443,684
受取手形及び売掛金	19,760,958	17,343,714
電子記録債権	5,086,604	5,699,195
有価証券	3,200,319	—
たな卸資産	7,013,788	7,848,105
その他	427,416	493,043
貸倒引当金	△13,269	△14,650
流動資産合計	49,916,946	42,813,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,285,111	2,170,202
土地	2,199,851	2,199,851
その他（純額）	810,694	1,169,851
有形固定資産合計	5,295,657	5,539,906
無形固定資産		
のれん	1,140,123	1,054,613
その他	839,574	918,944
無形固定資産合計	1,979,697	1,973,558
投資その他の資産		
投資有価証券	15,969,808	18,371,228
繰延税金資産	23,940	27,313
投資不動産（純額）	3,971,408	3,911,702
その他	693,697	733,859
貸倒引当金	△19,681	△15,113
投資その他の資産合計	20,639,173	23,028,990
固定資産合計	27,914,528	30,542,455
資産合計	77,831,474	73,355,547
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,952,795	15,952,715
短期借入金	1,055,000	950,000
未払法人税等	1,162,102	619,027
賞与引当金	674,818	350,430
その他	1,658,518	1,434,027
流動負債合計	21,503,234	19,306,200
固定負債		
長期借入金	2,000,000	1,325,000
繰延税金負債	411,204	34,057
株式給付引当金	57,122	54,890
役員株式給付引当金	15,624	15,624
退職給付に係る負債	24,849	29,966
資産除去債務	657,451	660,285
その他	694,577	693,747
固定負債合計	3,860,828	2,813,570
負債合計	25,364,063	22,119,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,075,000	5,075,000
資本剰余金	5,584,311	4,452,559
利益剰余金	43,227,887	44,396,448
自己株式	△5,919,493	△5,917,185
株主資本合計	47,967,704	48,006,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,079,541	3,046,231
繰延ヘッジ損益	△43,519	3,706
為替換算調整勘定	124,399	84,322
その他の包括利益累計額合計	4,160,421	3,134,260
新株予約権	67,597	94,693
非支配株主持分	271,687	—
純資産合計	52,467,411	51,235,777
負債純資産合計	77,831,474	73,355,547



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	43,209,613	47,749,241
売上原価	29,999,952	32,792,725
売上総利益	13,209,661	14,956,515
販売費及び一般管理費	8,689,503	9,573,475
営業利益	4,520,158	5,383,039
営業外収益		
受取利息	44,765	47,632
受取配当金	15,658	18,901
不動産賃貸料	282,079	278,432
その他	20,075	26,315
営業外収益合計	362,578	371,281
営業外費用		
支払利息	31,448	23,220
不動産賃貸原価	143,349	141,172
固定資産除却損	7,969	60,228
その他	18,120	14,015
営業外費用合計	200,889	238,635
経常利益	4,681,847	5,515,684
税金等調整前四半期純利益	4,681,847	5,515,684
法人税、住民税及び事業税	1,502,679	1,710,884
法人税等調整額	22,172	54,265
法人税等合計	1,524,851	1,765,150
四半期純利益	3,156,996	3,750,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	410
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,156,996	3,750,123

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	3,156,996	3,750,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	692,459	△1,033,309
繰延ヘッジ損益	12,466	47,225
為替換算調整勘定	1,687	△40,076
その他の包括利益合計	706,613	△1,026,160
四半期包括利益	3,863,609	2,724,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,863,609	2,723,963
非支配株主に係る四半期包括利益	—	410

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産除却損」は、金額的重要性が増したため第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外費用の「その他」に表示していた26,090千円は「固定資産除却損」7,969千円、「その他」18,120千円として組替えております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

販売実績

a. 部門別販売実績

部門	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
研究・産業機器部門	34,677,450	80.3	38,223,068	80.0
病院・介護部門	8,532,162	19.7	9,211,261	19.3
その他	—	—	314,911	0.7
合計	43,209,613	100.0	47,749,241	100.0

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 部門別販売実績は、部門ごとに管轄する得意先への販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

3. その他は株式会社トリアルフ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。

b. 品目別販売実績

品目	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
科学機器・装置				
汎用科学機器・装置	5,039,254	11.7	5,599,812	11.7
分析、特殊機器・装置	6,929,133	16.0	7,967,194	16.7
物理、物性測定機器・装置	2,565,666	6.0	3,048,615	6.4
実験用設備機器	2,781,409	6.4	3,825,743	8.0
小計	17,315,463	40.1	20,441,366	42.8
科学器具・消耗品				
汎用器具・消耗品	12,292,313	28.4	12,695,826	26.6
半導体関係特殊器具	5,597,937	13.0	6,075,244	12.7
小計	17,890,250	41.4	18,771,071	39.3
看護・介護用品	8,003,899	18.5	8,221,892	17.2
その他	—	—	314,911	0.7
合計	43,209,613	100.0	47,749,241	100.0

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 品目別販売実績は、当社の品目分類による品目ごとの販売実績を集計した補足情報であり、セグメント情報の記載ではありません。

3. その他は株式会社トリアルフ・ニジュウイチのシステム利用料売上であります。